

家庭教育部

紹介書籍・DVD・セミナー
vol.3



日本同盟基督教団家庭教育部

目次

.....	0
《1》書籍紹介	2
【1】「ティーンズのための命のことが分かる本」.....	2
著者：永原郁子.....	2
【2】「ふたりのために」.....	6
著者：ジョナサン・ベネディクト.....	6
【3】新版「良き生と良き死」.....	9
著者：柏木哲夫.....	9
【4】改訂新版「老いること、死ぬこと」.....	10
著者：鍋谷堯璽・森優.....	10

《1》 書籍紹介

【1】「ティーンズのための命のことが分かる本

ー生と性のはなしー」

著者：永原郁子

- ・対象：ティーンズと、その両親たち
- ・方法：一緒に、あるいは親と子で交代に読み合い、感想を分かち合う
- ・回数：（1回につき2章として）5～6回

1. この本を読むにあたって

著者：永原郁子

マナ助産院院長。いのち語り隊代表。神戸市助産師会会長。

2000年に助産師仲間と性教育グループ「いのち語り隊」を立ち上げ、幼稚園、小・中学校、高校や少年院などでの出張授業、保護者、教育関係者向けの講演を年間100以上行っている。正しい性の知識を教えるだけでなく、生きること、愛することを真正面から考えさせる性教育を行い、子どもたちを引きつけている。

出版社：いのちのことは社フォレストブックス

出版年：2012年1月

本の要点：

この本は、タイトルにあるとおりティーンズに宛てた本です。学校で習うような性教育の知識を得るための本ではなく、「いのちとは何か」「どう生きるのか」を読者に考えさせる内容となっています。親や教師の知らないところで多様な考え方に出会い、刺激され、時には当惑しているティーンズたちに対して、考え方を押しつけるのではなく、著者の個人的な思いを語りかけるようにつづられています。

家庭や教会では取り上げにくいような話題（例；さまざまな「性」第5章、「育てる準備ができていないのに赤ちゃんがやってきたとき」第8章、など）にも言及し、ネットなどに溢れている過激で、誤った情報に触れやすいティーンズに対して単なる知識の性を語るのではなく、いかに生きるの

かという視点をもって若者に対して「生き方」を問いかけています。

ちなみに、本書は教会学校の副読本として書かれたわけではないので、聖書の言葉や神様についての言及はあまりありません。かえって、神様や聖書を知らない一般のティーンズにも読んで欲しいと配慮された内容となっています。ただしエピローグでは著者自身がいのちの創造主なる神様を信じるクリスチャンであり、いのちはその神様が私たちにせいっぱい生きるようにと与えてくださったのだ、とはっきり証ししています。その意味では、神を信じるティーンズにとってもそうでないティーンズにも、バランスの取れた内容となっています。

2. 本の内容

- 1 : プロローグ いのちのはなし
 - ・いのちの始まりと終わり、2つのいのちなど
 - 2 : 誕生の話
 - ・「生まれてきてくれてありがとう」、いのちのバトンなど
 - 3 : ティーンズを上手に過ごす方法
 - ・ティーンズの特徴、大人へのパスポートなど
 - 4 : 好きな人ができたら
 - ・男女交際のポイント基礎編、応用編、人を愛するという事など
 - 5 : さまざまな「性」
 - ・生物としての性、社会的な性など
 - 6 : セックスについて考えよう
 - ・セックスの延長線上にあるいのちの誕生のこと、など
 - 7 : 妊娠したらどうなる
 - ・受精の神秘、胎児のこと
 - 8 : 育てる準備ができていないのに赤ちゃんがやってきたとき
 - ・赤ちゃんを産むという選択、人工妊娠中絶など
 - 9 : 性感染症
 - ・性感染症の種類と特徴、予防について
 - 10 : 結婚—幸せな家庭を築く 10 の心得
 - 11 : エピローグ いのちのはなし
 - ・色々ないのち観について、守られているいのちなど
- *付録：いのちと性の豆知識、悩んだときの相談窓口、いのちの大切さを伝える本の紹介

3. 確認コーナー

*各章を読んだあと、それぞれのご家庭で、あるいは複数の親子と一緒に、以下の設問に答えて、感想を語り合うとよいでしょう。

- 第1章：プロローグ、いのちのはなし
 - ① あなたは「いのちの始まりと終わり」は、いつだと考えますか。
 - ② 2つのいのちについて、話し合ってみましょう。

- 第2章：誕生の話
 - ① この章を読んで、赤ちゃんの誕生についてどのようなことを感じましたか。
 - ② 自分が誕生した時のエピソードを、参加者と分かち合ってみましょう。
＝そのために、まず自分が誕生した時のことをお父さん、お母さんにインタビューしてみましょう。

- 第3章：ティーンズを上手に過ごす方法
 - ① あなたは自分自身や自分の体について、どのように感じていますか。
 - ② 書かれていた内容で、疑問に感じたことがありましたか。それはどんな疑問でしたか。（できれば、それについて年長者の方に訪ねてみましょう）

- 第4章：好きな人ができたら
 - ① あなたには好きな人がいますか。なぜ好きなのかを、考えてみましょう。
 - ② この章に出てきたたくさんの「愛すること」の例を思い出しながら、あなたにとって「愛することとは何か」について答えてみましょう。

- 第5章：さまざまな「性」
 - ① 性（セックス）と、性（ジェンダー）の違いは何ですか。これらのことについて、聖書はどのように教えていると思いますか。
 - ② あなたは上記のような違いを、どのように思いますか。

- 第6章：セックスについて考えよう
 - ① 「セックスの延長上にあるいのちのたんじょうのこと」を読んで、どのように思いましたか。
 - ② 「愛しているなら、セックスをして当然」という考え方に、あなたはな

んと答えますか。

- 第7章：妊娠したらどうなる
 - ① この章を読んで、どのようなことを感じましたか。
 - ② あなたがお母さんのおなかにいた時、どんな様子だったか聞いたことがあれば分かち合ってみましょう。

- 第8章：育てる準備ができていないのに赤ちゃんがやってきたとき
 - ① もし今、あなたがこのような状況に直面したとしたら、どのような選択をしたいと思いますか。
 - ② 「人工妊娠中絶」や「里親に託す」を読んで、どう思いましたか。

- 第9章：性感染症
 - ① セックスをするということは、ここに書かれていたようなリスクがあることを知っていましたか。
 - ② どうすれば性感染症を防ぐことができますか。

- 第10章：結婚—幸せな家庭を築く 10の心得
 - ① ここに書かれている 10の心得を読んで、どのように思いましたか。
 - ② あなたの理想の結婚、理想の家庭とは、どのようなものですか。

- 第11章：エピローグ、いのちのはなし
 - ① ここまで読み進めてきた感想を、率直に分かち合ってみましょう。
 - ② この章には、著者のいのちに対する考え方が書かれていました。あなた自身は、あなたのいのち、まわりの人々のいのちをどのように考えていますか。

【2】「ふたりのために」

著者：ジョナサン・ベネディクト

- ・対象：結婚を考えているカップル、教会の青年会
- ・方法：結婚前カウンセリング、グループでの読書会の兄弟として
- ・回数：（1章につき1回として）6回

1. この本を読むにあたって

著者：ジョナサン・ベネディクト

1956年、山口県岩国市生まれ。Christian International College 神学科卒業。1980年より日本で宣教師として働く。清泉女学院短期大学講師。ファミリー・フォーラム・ジャパン理事。妻ベッキーとの間に4男6女。

出版社：ファミリー・フォーラム・ジャパン

出版年：2002年4月

本の要点：

この本は、序文で著者自身が紹介しているとおおり、「聖書を土台として書かれた結婚ハンドブック」です。そのことは著者自身が宣教師であるところから当たり前のことですが、読者対象はあえて、教会に行っていない、聖書を読んだことのない未信者の方を想定しています。ですから、結果的にクリスチャンの方々が読まれても、分かりやすい内容、構成となっています。特に、著者自身の経験を具体例として取り上げ、未信者の読者の理解を助けています。

120ページほどの本ですが、2～3時間もあれば十分読める文章量です。学びの前にそれぞれが一読して、感想を分かち合うとより良い学び、カウンセリングが期待できます。

2. 本の内容

第1章：結婚の三つの柱

①離れる、②結び合う、③一体となる

第2章：新婚1年目…きずなを強めるためのアドバイス

第3章：夫婦間のコミュニケーション

- ①問題提起、②耳を貸すこと、③励ますこと、④あきらめないで

第4章：上手なケンカの解決法

- ①問題提起、②衝突は必ず起こる、③具体例、④解決するためのヒント

第5章：夫婦で協力する子育て

- ①聖書の教えを土台とした子育て、②子どものしつけ、③謝ること、
誉めること、④夫婦のチームワーク

第6章：一番重要な鍵

- ①結婚を通して見えてきた自分の姿、②不完全な私、③共に年をとる

3. 確認コーナー

・第1章から

- ①あなたは、結婚とは何であると考えていますか。
- ②聖書が教える「結婚の三つの柱」とは、何ですか。
- ③結婚に対する自分の考えと聖書の教えとでは、どのように違っていましたか。それに対して、どのように思いましたか。

・第2章から

- ①結婚を願う相手と、どのようにして絆を深めようと思いますか。
- ②第2章に書かれていた「新郎、新婦へのメッセージ」を読んで、どう思いましたか。

・第3章から

- ①結婚を願う相手とのコミュニケーションについて、考えたことがありましたか。
- ②第3章をとおして、二人の間に何か足りない点がありましたか。

・第4章から

- ①今まで、周りの人とのケンカをどのように解決してきましたか。
- ②ここに書かれていた「解決のためのヒント」は参考になりましたか。

・第5章から

- ①子どもをしつけることを、どのように思いますか。
- ②幼児虐待としつけとは、どのように違うと思いますか。
- ③子どものしつけについて、夫婦でどのように協力できると思いますか。

・第6章から

- ① （これまでの学びを踏まえて）結婚生活において、一番大切なことは何だと思えますか。
- ② （これまでの学びを踏まえて）聖書が教える夫婦についての言葉から、どの言葉が印象に残っていますか。

【3】新版「良き生と良き死」

著者：柏木哲夫

- ・対象：すべての人
- ・方法：グループでの読書会にて分かち合い
- ・回数：Ⅰ～Ⅳで4回

1. この本を読むにあたって

著者：柏木哲夫（かしわぎ・てつお）

1939年5月29日 生まれ。兵庫県出身。1965年大阪大学医学部卒業。大阪大学精神神経科に3年勤務。1969年ワシントン大学に留学。1972年帰国、淀川キリスト教病院に精神神経科を開設、ターミナルケア実践のためチームを結成。その後、同病院にて内科医としての研修を受け、1984年にホスピスを開設し、その後副院長、ホスピス長を経て、1993年大阪大学人間学部教授。2004年定年退官、金城学院大学元学長。厚生労働省医政局所管特例民法法人である日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団の理事長も務める。医学者、内科医、精神科医。博士（医学）、博士（人間科学）。専門はターミナルケア。日本メノナイト・ブレザレン教団石橋キリスト教会会員。淀川キリスト教病院名誉ホスピス長、大阪大学名誉教授。

出版社：いのちのことば社

出版年：2008年9月

本の要点：

本書は、ホスピス医としての看取りという仕事を通して著者が、患者さやご家族から学んだ多くのことを講演という形で行ったものに修正加筆して出版されました。「良き生と良き死」のキーワードは「感謝」であり、人は生きてきたように死んでいくことを多くの事例をあげながら読者に自分の生き方や必ず訪れる死について思いを深められるようにとの意図で書かれています。

本の内容：

この本は、4章からなっています。

- I 心を見つめて
- II 現代人の生と死
- III 私たちの生と死をめぐって

IV 死にゆく患者と家族への援助
《いかに生きるかを見つめる書》

2. 確認コーナー

- I この複雑な現代社会の中で、心安らかに生きて行くために必要なことを分かち合いましょう。
- II あなたの周りにある「老い」と「死」をタブー視する風潮を確認しつつ、「良き死」につながる第一条件を話し合いましょう。
- III あなたの周りの死から教えられた「良き死を死すためには良き生を生きなければならぬ。良き生を生きることが良き死につながる。」という事例をあげて分かち合いましょう。
- IV 「死にゆく患者と家族への援助」を読んであなたはクリスチャンとして、どのような人間の最後の成長である「死」を支えることができ、またそのご家族へどんな接し方、援助ができるかを考え、分かち合いましょう。

【4】改訂新版「老いること、死ぬこと」

著者：鍋谷堯璽・森優

- ・対象：すべての人
- ・方法：グループでの読書会にて分かち合い
- ・回数：7回（第一部を3回、第二部を4回）

1. この本を読むにあたって

著者：鍋谷堯璽（なべたに・ぎょうじ）

1930年、兵庫県出身。慶應義塾大学、神戸ルーテル神学校、ウエストミンスター神学校、コンコーディア神学校 4 に学ぶ。進学博士。現在、神戸ルーテル神学校教授、神戸国際大学名誉教授、三宮キリスト教会牧師、神戸ゴスペルキリスト教会名誉牧師、日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事、神戸バイブル・ハウス理事。

森優（もり・まさる）

1935年、福岡県出身。日本ルーテル神学校卒業。1971～72年、アメリカおよびドイツにおいて、キリスト教出版マネジメントを学ぶ。いくつかの教会の牧会、幼稚園長、保育園長の職を携わり、株式会社聖文舎社長、北海道キリスト教書店、名古屋聖文舎などの社長も務める。その間、世界ルーテル連盟マスメディア研究所（本部ジュネーブ）東京支局主事などを歴任。2004～06年、ドイツ・ウィッテンベルク市ルター・ツェントルム客員研究員。日本ハンドベル連盟の創設（1976年）にかかわり、事務局長、常務理事、第14回世界大会（2010年、大阪）の準備委員（総務担当）などを務める。現在、無牧の日本福音ルーテル松山キリスト教会に牧師として協力中。カルフォルニア神学大学院日本校教授、副学長、クロスウェイズ聖書研究会日本代表。進学博士、哲学博士。

出版社：いのちのことば社

出版年：2011年5月

本の要点：

かつてない高齢化社会の中で、「老い」をどう生き、「死」にどう向かい合うか、1995年に初版「老いと死を考える」が出版されてから三版を重ね、2003年に改訂版「老いること、死ぬこと」と題して出版されました。本書は全面改訂し、老いと死に変わることはない聖書の光を当てて、鍋谷堯璽と森優が相談しつつ新しく書き下ろしたものです。日本人の老年観、死生観などを分析し、事例などを参考に、充実した生き方、さらには天国への希望を聖書の視点から語っています。

本の内容：

第1部 老いること

1. 老いを長寿に

長寿者のモデルからインスピレーションを受ける一日野原重明さん

／柴田トヨさん／ヘルマン・ホイヴェルスさん／アウグスティヌス

2. 日本の高齢者社会の特徴

日本の直面する三つの問題／多子化時代にも高齢化はすすむ／高齢化率の急激なアップ／高齢者問題に国も対策をかかげてきたが

3. 視点を定める

グローバリゼーションの影響／日本の老人福祉の流れ／日本が老いてきた／高齢者を取り巻く環境の変化を直視しよう／老いの管理化／介護保険について／高齢者世帯の経済状況／長寿の恵みに感謝

4. 高齢化の身体的諸問題

高齢者の健康と老化現象／脳の老化と脳細胞／長寿人生の秘訣／「度忘れ」と「認知症」の違い／高齢者を取り巻く環境と動向

5. 高齢者の社会的孤立と地域社会

居場所をつくる／福祉をとおして福音を分かち合う(中原キリスト教会)／「市民社会」として社会に奉仕する(西大寺キリスト教会)／スカサ(あなたの家)／男性介護者のためのほっこり庵

6. 再婚の祝福

妻が先立つこと／再婚についての指針を聖書に見る／妻の死の悲しみを乗り越えた後に／よきパートナーの必要

7. ライフサイクル

人生の行程表／人生の旅／タルムードと孔子／四住期にみるライフサイクル／老いることの意味を問いなおすとき

8. 日本人と老い

9. 聖書から見た「老いること」

老いの特徴／旧約聖書における寿命／旧約聖書のライフサイクル／老いの美点／共同体の中で／老いと若さの事例／生死の間で／新約聖書における老い／神に望みをおく—生理法則の逆転

第2部 死ぬこと

1. 創造の秩序の中での死

姉の死、友人の死／創造の秩序の下での死／神から切り離された死／イエス・キリストの死／わたしの死／噴水の水の一滴にも意味がある／キリストを通して死を考えること／死の向こうを考える

2. 死ぬことの身体的側面

現代の三大死因／死んでいくプロセス／寿命といのち／がんというもの／延命治療と告知／死の受容／死の兆候

3. 死の判定について

脳死と臓器提供

4. 若者は死をどのように受け止めているか
5. 人は死に臨んで何を考える
死の恐怖／事故死の場合
6. 死ぬことのモデルはあるか
速水優さん／隅谷喜男さん／遠藤周作さん／石原謙さん／鈴木清さん
7. キリスト教の葬儀について
葬儀の実際／キリスト教葬儀の特徴一声を届かせる／弟、三明の葬儀におけるメッセージ—聖書・詩篇九〇篇／一年後の記念会
8. 墓について考える
墓が語りかける／聖書と墓／現代日本の墓の問題
9. 日本人の死生観
日本人の古来の死生観／タブー視された死の時代／般若心経
10. キリスト教の死生観
ルターの死／アウグスティヌスの死生観／ルターの死生観
11. 聖書は死ぬことについてどうか
旧約聖書における死／恐れと死の様相／日常性から引き出される／自己とのかかわり／隣人とのかかわり／被造世界とのかかわり／神とのかかわり／新約聖書における死／天の故郷

2. 確認コーナー

分かち合いましょう。

第一部 老いること

1～3

- ① 長寿者モデルケースを読んで感想を分かち合いましょう。
- ② 日本の高齢者社会の現状を知り、問題点を話し合いましょう。
- ③ 高齢化の波の中でどこに視点を定めたらよいのか話し合いましょう。

4～5

- ④ 高齢者の身体的諸問題について話し合い自分がやっていきたい長寿人生の秘訣をお互いにあげて分かち合いましょう。
- ⑤ あなたの教会でおひとり暮らしの高齢者に行っていること、あるいは今後取り組めることをあげ、どう実践していくことができるかその可能性を探り、話し合いましょう。

6～9

- ⑥ あなたの周りにいる再婚の祝福の例をあげ分かち合いましょう。

- ⑦ 自分の人生全体の中の「老い」の位置づけを問い直し、ライフサイクルを考え分かち合いましょう。
- ⑧ ⑨日本人の「老い」の考え方と聖書から見た「老いること」の違いを確認し、私たちが目指す「老い」について話し合いましょう。

第2部 死ぬこと

1～3

- ① 神の創造の秩序に従う死と神から切り離された死の事例をあげて、キリストを通して死を考えることができる恵みと死の向うを考えて生きることのできる希望を分かち合いましょう。
- ② 死の現実を確認し、どのような最期を迎えたいか分かち合いましょう。
- ③ 死の判定と臓器移植についてお互いに分かち合い、どのような備えができるか話し合いましょう。

4～6

- ④ 若い人たちに対して、すべての人に訪れる「死ぬこと」への備えについてどのようなアプローチができるか話し合い、分かち合いましょう。
- ⑤ 人が死に臨んで何を考えるか、あなたの周りにある事例があれば、分かち合いましょう。
- ⑥ 死ぬことのモデルを読んだ感想を分かち合いましょう。また、身近な例がある人は分かち合いましょう。

7～8

- ⑦ キリスト教の葬儀の意味を確認し、実際の事例や式次第を研究し、今後どのようなキリスト教葬儀を目指すことができるか話し合いましょう。
- ⑧ 現代日本のお墓事情を確認し、今後教会がどのようなお墓を対社会に備えていくことができるか話し合いましょう。

9～11

- ⑨ ⑩日本人の死生観とキリスト教の死生観を比べ、私たちクリスチャンに与えられている神の恩寵、神の祝福を確認し、この、恵みのキリスト教の死生観をどのように伝えて言うことができるか考え、話し合いましょう。
- ⑪ 私たちが人生の最後がいかなるものであれ、天に故郷を持つものと
- ⑫ して死ぬ者であることを学んで、今後どのように自分の老いを生き、自分の死を生きることができるか、分かち合いましょう。

タイトル：紹介書籍・DVD・セミナーVol.3

発行年月：2015年1月

レポーター：菊池真恵美、中尾信一

編集発行：家庭教育部

印刷製本：教団事務所